

1. 建物概要

建物名称	白梅下石田ホーム 西館	BEE	1.1	BEEランク	B+	★★★
------	-------------	-----	-----	--------	----	-----

2. 重点項目への取組み度

重点項目	得点※/満点		取組み度	評価
”ふじのくに地球温暖化対策実行計画”の推進 (Global Warming)	3.6	/5		ふつつ
”災害に強いしずおか”の形成 (Disaster)	3.8	/5		ふつつ
”しずおかユニバーサルデザイン”の推進 (Universal Design)	3.1	/5		ふつつ
”緑化及び自然景観”の保全・回復 (Nature)	2.7	/5		がんばろう
※対応するCASBEEのスコア（平均）を5点満点で表示 します。（スコア1.0＝1点、スコア5.0＝5点）			評価 凡例	
			よい 4 点以上	ふつつ 3 点以上
				がんばろう 3 点未満

3. 重点項目についての環境配慮概要

内訳対応項目	
各項目について配慮した内容を、該当する番号(①～)を示し記述してください。	
“ふじのくに地球温暖化対策実行計画”の推進(Global Warming)	
■室内環境対策 (①室温制御/②昼光対策/③ glare対策/④部品・部材の耐用年数) ①外皮(外壁ALC100+グラスウール断熱材)の温熱環境の向上。 ②光庭を設置し外光を取り入れた。 ③底(バルコニー)の設置	① 外皮性能 ② 昼光利用設備 ③ 昼光制御 ④ 躯体材料の耐用年数 ⑤ 外壁仕上げ材の補修必要間隔 ⑥ 主要内装仕上げ材の更新必要間隔 ⑦ 空調換気ダクトの更新必要間隔 ⑧ 空調・給排水配管の更新必要間隔 ⑨ 主要設備機器の更新必要間隔
■室外環境(敷地内)対策 (⑤生物環境の保全と創出/⑥敷地内温熱環境の向上) ⑤敷地周囲に緑地帯を設けた。 ⑥緑地の緑が連続するような外構植栽計画を行った。	⑤ 生物環境の保全と創出 ⑥ 敷地内温熱環境の向上
■エネルギー対策 (⑦建物外皮の熱負荷抑制/⑧自然エネルギー利用/⑨設備システムの高効率化/⑩効率の運用) ⑦外壁、屋根の高断熱化。 ⑧自然通風、光庭による自然エネルギーの利用。 ⑨LED照明の採用。高効率空調機の導入。	⑦ 建物外皮の熱負荷抑制 ⑧ 自然エネルギー利用 ⑨ 設備システムの高効率化 ⑩ モニタリング ⑪ 運用管理体制
■資源・マテリアル対策 (⑪水資源保護/⑫非再生性資源の使用量削減/⑬汚染物質含有材料の使用回避) ⑪節水型の衛生器具を採用 ⑬有害化学物質を含まない内装材の採用	⑪ 節水 ⑫ 雨水利用システム導入の有無 ⑬ 雑排水等利用システム導入の有無 ⑭ 材料使用量の削減 ⑮ 既存建築躯体等の継続使用 ⑯ 躯体材料におけるリサイクル材の使用 ⑰ 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用 ⑱ 持続可能な森林から産出された木材 ⑲ 部材の再利用可能性向上への取組み ⑳ 有害物質を含まない材料の使用 ㉑ 消火剤 ㉒ 断熱材 ㉓ 冷媒
■敷地外環境対策 (⑭地球温暖化への配慮/⑮温熱環境悪化の改善) ⑭省エネルギー対策。 ⑮主風向に対する見付面積比を60%以下とした。	⑭ 地球温暖化への配慮 ⑮ 温熱環境悪化の改善
“災害に強いすおか”の形成(Disaster)	
■サービス性能対策 (⑯耐震・免震/⑰信頼性) ⑯耐震性、基準法の50%増。	⑯ 耐震性 ⑰ 免震・制振性能 ⑱ 空調・換気設備 ⑲ 給排水・衛生設備 ⑲ 電気設備 ⑲ 機械・配管支持方法 ⑲ 通信・情報設備
“しずおかユニバーサルデザイン”の推進(Universal Design)	
■サービス性能対策 (⑲機能性・使いやすさ/⑲心理性・快適性/⑲空間のゆとり) ⑲バリアフリー法基礎基準を満たしている。	⑲ ユニバーサルデザイン計画 ⑲ 階高のゆとり ⑲ 空間の形状・自由さ
■室外環境(敷地内)対策 (⑲地域性・アメニティへの配慮) ⑲街並みに配慮し、落ち着いた外観とした。	⑲ 地域性への配慮、快適性の向上
“緑化及び自然景観”の保全・回復(Nature)	
■室外環境(敷地内)対策 (⑤生物環境の保全と創出/⑥まちなみ・景観への配慮/⑥敷地内温熱環境の向上) ⑥緑地の緑が連続するような外構植栽計画を行った。	⑤ 生物環境の保全と創出 ⑥ まちなみ景観への配慮 ⑥ 敷地内温熱環境の向上
■敷地外環境対策 (⑮温熱環境悪化の改善) ⑮外主風向に対する見付面積比を60%以下とした。	⑮ 温熱環境悪化の改善